

home

ながく住みやすく、ずっとこの街に。済生会病院にできること。

Shizuoka Saiseikai Communication Paper



January, 2016

Vol.20

Contents

特集
01 2016年 変わります宣言!

先生の届けたい声「Doctor's Voice」
03 神経内科／眼科

「認定看護師」
05 糖尿病看護認定看護師

地域連携による安心の医療
06 医療連携医のご紹介

others ・災害対応訓練を開催
・県より「イクボス」の企業表彰!



2013年より当院で進めております施設の改築工事では永らくご迷惑をおかけしておりますが、その一環としてこの春、待望の新館が完成し、ゴールデンウィーク頃をめどに本格的に始動します。ここには救命救急センターや集中治療室、手術室など緊急性の高い施設を集め、ドアが開けばすぐその場で高度な治療が受けられるという環境を整えていく予定です。また、いま別棟にある健康管理センターも北館にリニューアルオープンします。こうした機能性と安全性を高めることで、医療サービスの質を高めてまいります。

さらに今春は、人材面でも嬉しいニュースがあります。呼吸器内科に待望の常駐医チームが3名着任する他、救命救急センターなどに当院で研修医時代を過ごしたOBが経験を積んで戻って来てくれることになっています。

このように設備と人材の両面から医療環境を充実させ、地域の皆様により信頼していただける病院を目指してまいります。また、地域の医療機関との連携もいっそう強化し、「患者さんが安心して退院できる地域社会」の実現に向けて引き続き取り組んでいくつもりです。社会福祉法人としての使命を果たしながら、今後も地域になくはならない病院づくりに努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

静岡済生会総合病院 病院長

石山 純三

患者さんが、
安心して退院できる
地域社会の実現へ。





医師 榎葉俊一

臨床心理士 安藤恵



看護師 上田理恵子

薬剤師 野竹秀幸



臨床検査技師 河村静恵

保健師 中村有美

2016年、静岡済生会総合病院は、

変わります宣言!

建設中の新館が、この春いよいよ始動し、
 健康管理センターも改装移転いたします。
 設備と人材の両面から、より充実した医療を目指す
 これからの済生会病院に、ご期待ください。



医療ソーシャルワーカー 手塚至乃部

事務 高橋里奈



診療放射線技師 山崎敬之

臨床工学技士 羽田野直樹



管理栄養士 中川立哉

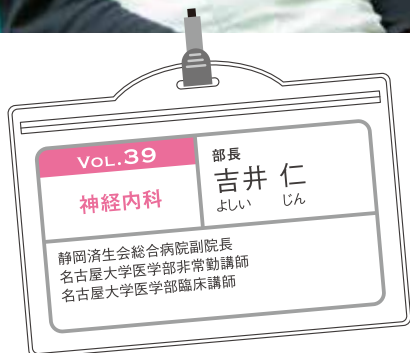
言語聴覚士 齊藤美穂

管理栄養士 内田理恵

言語聴覚士 杉山穂子

DOCTOR'S

本院の副院長を務める吉井仁医師は、脳の病気を診る神経内科の超ベテラン。永年本院で実績を積み、全国的に注目される診療成果を挙げてきました。



脳はその人の、人生そのもの。

脳梗塞は、手足がしびれる程度の軽い症状を訴えてから、わずか1週間で命を落とすこともある病気。その治療は時間との闘いです。

私がまだ若手の頃から、本院には脳梗塞の患者さんが多く受診していました。当時は救急搬送される市内の患者さんの3分の2が本院に来ていたほどです。けれど、なすすべもなく亡くなってしまふ患者さんも少なくなかった。なんとかしたい一心で、20年にわたって閉塞した血管の再開通療法の確立を志し、全国に先駆けて取り組んで来ました。その成果がこの1、2年で世界的によやく実証されてきたところ。ここまでやってこられたのは、若手時代に当時の院長が自分を信じて任せてくれたおかげ。だから30年も本院にとどまり続けているのかもしれませんね。

神経内科医になった理由は、動物の中でも一番面白いのは人間、それも人間とはなんぞやと問うた時に、脳の前頭前野だと考えたからでした。脳は、その人の人生そのものです。命が助かれればそれでいいというものではありません。神経内科が扱うのは完治できない病気が多いけれど、少なくとも、ここに来てくれた患者さんには決して損はさせないという姿勢で治療に臨んでいます。

たとえ治らなくても、生き方を変えれば良い人生を歩むことはいくらでもできます。全ての患者さんがそうなってくれたらと思いますね。

前向きな考え方が 認知症予防になる。

今力を入れているのは、認知症への取り組みです。認知症も、生活習慣を改めることで進行を遅らせることができる。特に運動は最も効果的だと考えています。実際、欧米では生活習慣の改善で認知症が減少しつつあるそうです。

スーパー老人の研究によると、ポジティブな考え方ができる人は認知症の原因となるアミロイドβという物質がたまりにくいと言われています。病気にならないためには、楽天的で、自分をうまくコントロールできる生き方が必要です。人間は唯一自分をコントロールできる生き物なのですから。

神経内科

今すぐ認知症を予防する方法。目標や動機を作りましょう！

皆さんは、何のために長生きしたいですか？

日頃から「もっとこうなりたい!」という目標や動機を持って生活していますか？
認知症を予防するには、日頃からの前向きな姿勢が大切。「〇〇歳まで生きたい」「健康を維持したい」といった漠然とした動機よりも、孫の顔が見たいとか、もっと〇〇ができるようになりたいといった具体的な目標の方が、脳には良い刺激になります。それも、現状維持ではなく、進歩しようとするのが肝心なのです。



最後に...

「認知症予防のためには小学校からポジティブシンキングと良い生活習慣の教育が必要では」と考える吉井医師。自身の予防策は、30年近く続けているゴルフ。「もっとうまくなりた。そのために体を鍛え、食生活まで気を配ります」。生来の負けず嫌いが生きる力につながっているようです。

VOICE

ドクターズボイス



私たちが皆さまに
届けたい声がある!

浅井景子医師は、研修医時代を当院で過ごした、生粋の静岡っ子。
念願の地元に戻った今、若き眼科専門医として腕を磨いています。

当院の先輩から

患者さんを思う心を学んだ。

父が形成外科医、母が皮膚科医という環境で育ったので、私も最初は皮膚科を目指していました。でも当院で研修医をしていた頃、先輩に眼科を勧められて実習に行ってみたら自分にとても合っていたんです。それに、眼疾患は治療の成果が実感しやすく、患者さんから直接「見えるようになった」と感謝して頂けるのが遣り甲斐になります。何より、私が研修医当時に医長だった先生の患者さんを思う姿勢やスタッフに対する気遣いことでも感銘を受け、最終的に眼科を志すことを決めました。医長の先生からは「患者さんの立場に立って考える」とはどういうことかを身をもって教えられたと思います。また「まず自分の力で出来るところまでやってみなさい」という教育姿勢でしたので、色々苦労も多かったですが、困ったときは深夜まで根気良く付き合ってくれて下さり、その経験が今の自分の診療に対する自信に繋がっています。今は自分も後輩を指導する立場になりましたが、「先生に指導して貰えて良かった」と後で思っただけでなく、貰えるような先輩になりたいですね。

静岡の眼科診療はハイレベル。

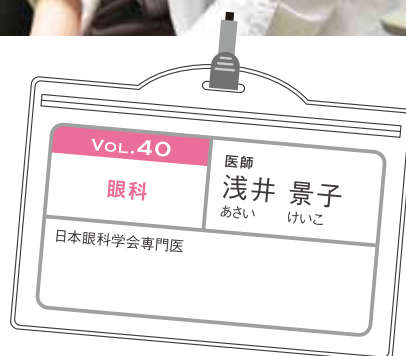
眼科は技術の進歩が著しい診療科です。新しい機械の開発が日進月歩で進んでおり、少し前までわからなかった新しいことがたくさん発見されています。それにともな

い新しい検査機器や治療の選択肢も増え、数年前とは検査や治療の常識が全く変わってしまうことも珍しくありません。その分、医師には絶えず勉強が求められます。

昨年、眼科学会の専門医に認定されました。眼はとても小さな臓器ですが、その中に多くの繊細な機能が詰まっており、白内障・緑内障・網膜硝子体などをはじめとして専門分野も十数もの多岐に渡ります。そうした様々な分野における知識や技術を研鑽し、患者さんの疾患を見落とさない広い視野を養っていきたくと思っています。

静岡は総合病院レベルの診療を行っている実力派の眼科開業医さんも多く、とてもレベルが高い地域だと感じます。それに、専門外来の先生の診療を見学させて頂いたり、著名な先生をお招きした講演会が頻繁に開催されるなど、地域の眼科医で協力して研鑽し合い、より良い後進を育てようという環境がありますね。また、眼科は糖尿病をはじめとして内科疾患との関係も深く、地域の内科医の先生方との連携にも力を入れています。

勿論、開業医の先生方だけでなく、院内のコメディカルスタッフにも随分助けられています。特に検査を担当する視能訓練士の皆さんには、研修医の頃から診療面でも精神面でも支えて頂いており、彼女たちのサポートが無かったら今の私はいないでしょう(笑)。患者さんも医師の私には言いづらいことでも看護師をはじめとしたスタッフには気軽に相談しやすいようです。様々な職種の方と協力し合いながら、総合病院の専門医らしく、これからも重症に苦しむ患者さんとじっくり向き合っていきたいです。

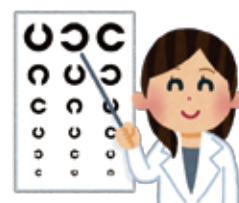


眼科

「ロービジョン」の患者さんのケアに力を入れています。

一人一人に合わせてアドバイス!

目の病気や事故など、何らかの原因で目が見えにくくなってしまい、矯正もできない状態を「ロービジョン(社会的弱視)」と呼びます。「見えにくさ」が人によって違うため、その人の状態に合わせたケアや生活サポートが必要です。当院では視覚特別支援学校などと連携をはかりながらサポートを行っています。一人一人に時間をかけて面談し、サポート用品も含めたより良い対策をアドバイスします。



最後に...

眼科スタッフの中でも男前との呼び声高い(?)浅井医師。オフにはスタッフと旅行に行くこともあり、気さくでおしゃべり好きな人柄が魅力です。実は本の虫で、週に一度は書店に通い、時には1万円分の本を買い込むこともあるという強者。その元気は、患者さんにも伝わっているでしょう。

C E R T I F I E D

★ ★ ★ ★ ★

認定 看護師

NINTEI KANGOSHI

vol. 03

N U R S E



認定看護師とは？



特定の看護分野で、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができる看護師として認定される資格です。



糖尿病看護
認定看護師

我妻ひと美

Hitomi Wagatsuma

南8階病棟



「どんな仕事をしているの？」

糖尿病にかかる患者さんは小さなお子さんから高齢の方まで幅広く、予備軍を含めて今も増え続けています。私はそうした患者さんとご家族に糖尿病について説明したり、患者さんにインスリン注射や血糖測定の方法を教えたりと、療養に関するさまざまなアドバイスを行っています。また、病棟や外来のスタッフに糖尿病への理解を深める取り組みも進め、病院全体のレベルアップに繋がっています。

「どんな看護をめざしているの？」

療養指導によって、患者さんやそのご家族が「よかった」「今までこう考えたことはなかった」などと新たな発見を得たり、患者さんご自身で治療を構築してがんばっている姿に触れると、またがんばろうという力になります。多くの患者さんの合併症への恐れを少しでも減らし、ご家族と心穏やかに生活を送れるよう、関わりを深めていきたいと思えます。



地域のみなさまへメッセージ

Message

患者さんからよく聞かれるのが「あの時こうすればよかった」と後悔する声です。早期発見できれば、食事療法や運動療法で改善できたケースも多くあります。定期検診などで少しでも血糖値について指摘された場合や気になることがありましたら、早期受診をお願いします。当院では毎月第2・4木曜日午後12時に糖尿病教室を無料開催しています。お気軽にお越しください。

医療連携医のご紹介

地域の中核を担う総合病院として、地元の医院との連携プレーも欠かせません。

静岡市駿河区

しず おか まがり かね
静岡曲金クリニック

☎054-202-5050

〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-5-5

診療科目 内科・皮膚科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:15~11:30	○*	○	○	○*	○	○	—
午後の部 14:00~17:30	—	○	○	—	○	○*	—

休診日:木曜(不定休)、日曜、祝祭日

※月・木曜の受付時間は8:00~11:30、土曜午後の受付時間は14:00~17:00

膠原病リウマチ・甲状腺に精通する真砂玲治医師と、それに伴う皮膚の病気から美容皮膚科まで手がける園真医師。夫婦二人三脚で連携を取り、体の中と外の両面から治療に当たる。特に膠原病などは全身疾患のため、地域の医師とも密に連携し、逆に大病院から協力を依頼されることも。患者さんへの親切丁寧な説明にも定評があり、早朝診療やWEB予約などのしくみも整え、長年闘病する患者さんを支えている。



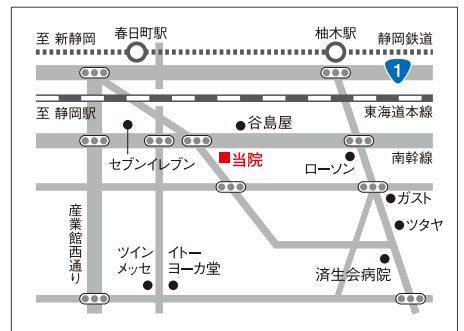
左:理事長(内科医)真砂玲治
 右:院長(皮膚科医)真砂園真

静岡曲金クリニック

外観



案内図



- しずてつジャストライン「曲金入口」バス停 徒歩3分
- 無料駐車場あり

静岡市駿河区

とやまクリニック

☎054-201-9800

〒421-0112 静岡市駿河区東新田2丁目16-30サンコーポ池ヶ谷103

診療科目 一般内科・循環器科・訪問診療

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00~11:50	○	○	○	○	○	○	—
午後の部 15:30~17:50	○	○	○	—	○	—	—

休診日:木曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日

昨年開院したばかりの「とやまクリニック」は、内科・循環器科の専門外来に加え、通院できない高齢者への訪問診療に力を注いでいます。訪問診療では施設はもちろん、院長自ら患者さんの自宅に一軒一軒伺い、40歳の若さと情熱で精力的に対応。また、志を同じくするケアマネ、訪問看護師、薬剤師たちと心をつなげて、より良い訪問診療のあり方を模索していらっしゃいます。

ぜひお気軽にご相談ください。



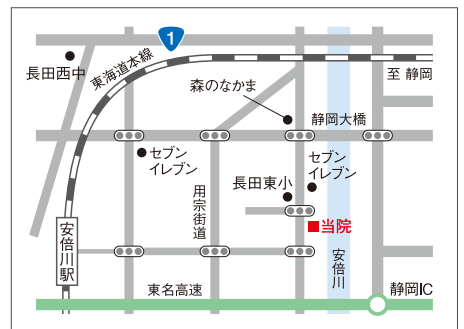
院長 外山英志

とやまクリニック

外観



案内図



- しずてつジャストライン「長田東小学校」バス停 徒歩2分
- 無料駐車場あり

Information インフォメーション

home vol.20

Information

災害対応訓練を開催

当院では、静岡県の「地域防災の日」に定期的に「災害対応訓練(Disaster ABC コース)」を開催しています。今後予想される、大災害に備えトリアージ技術の向上だけでなく、災害時の全体の流れを確認し、危機管理体制の充実をはかっています。



home vol.20

Information

県より「イクボス」の企業表彰!

みなさん、「イクボス」という言葉をご存じですか?イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことです。静岡県では、子育てしやすい職場環境づくりの推進のためイクボスが活躍する企業を募集し、このほど当院が取組に対して優れている企業として12月22日県知事より表彰されました。



私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会
静岡済生会総合病院

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
TEL.054-285-6171 FAX.054-285-5179
<http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp>

済生会とは?

明治44年、明治天皇より済生勅語とともに下賜されたお手元金150万円を基金として、当時の総理大臣桂太郎が「恩賜財団済生会」を創立。以来、済生会では創立の精神を引き継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んでいます。